

「野方小学校の荒佐野棒踊り伝承活動の取組」

| | |
|---|---|
| 1. 学校名 | 大崎町立野方小学校 |
| 2. 学年・人数 | 4年から6年 計30人 |
| 3. 日時・場所 | (1) 練習の日時・場所 令和6年10月9日(水), 16日(水), 24日(木) 本校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月27日(日) 「秋季大運動会」 令和6年11月9日(土) 「野方小学校創立150周年記念式典」オープニングセレモニー 本校体育館 |
| 4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について | (1) 名 称 荒佐野棒踊り (あさのぼうおどり) (2) 由 来 約338年前に摂津・河内・和泉の三国(現在の大阪地方)から荒佐野の地へ移住した人々の子孫から伝えられた。由来については、「農耕儀礼」、「朝鮮出兵の凱旋祝賀」、「防御・攻撃術の踊り化」など諸説あるが、一般的には五穀豊穡や無病息災を祈って踊られることから、荒佐野を開墾した人々が新天地での安泰を祈願して踊るようになったと思われる。 (3) 構成等 踊りは、6尺棒(木製薙刀)を持った踊り手と3尺棒(木製刀)を持った踊り手が、縦2列に並び、前後4人1組で歌い手の歌う調子に合せながら、威勢のいい掛け声とともに棒を打ち合わせ勇壮に踊られる。 |
| 5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等 | 連携・協力の『体制』をしっかりとさせるために窓口を明確にしている。保存会側は、代表が窓口になり、保存会の会員の協力を取り付けるようにしている。学校側は、全体的には教頭が窓口になっているが、児童の練習計画や指導内容等、詳細の打ち合せは、4～6年の担任が行い、児童が効果的・効率的に棒踊りを学習・練習できるように進めている。 |
| 6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等) |  <p style="text-align: center;">運動会での披露</p>  <p style="text-align: center;">創立150周年記念式典での披露</p> |
| 7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等) | <p>【6年児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生に教えたけれど、自分が動くよりも教えるのは難しかった。みんなで一緒に踊れたことがうれしかった。来年もがんばってほしい。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が子の棒踊りを見ることができてよかった。運動会での披露になり、たくさんの人に見てもらえてよかった。 <p>【保存会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが真面目に練習し、早く踊りを覚えてくれることがうれしい。指導する側も高齢になり、継承者が年々少なくなってきている。教えている子供たちの中から大人になったときに継承してくれれば、ありがたい。 |